

①職種 ケアマネ

②徘徊捜索に関わったことがありますか？ はい 17 いいえ 13

③どのような状況でしたか？

《仰木の里地区》

- 1: デイ利用中に行方不明になり深夜0時頃兵庫県のJR駅にて保護される。デイ責任者が迎えに行かれたとの報告を翌日に受けたことがあります。
- 2: 認知症の夫と妻と一緒に探した、成安造形大学付近を捜しましたが見つからず警察に依頼。あがりゃんせまで裸足で歩いて行っておられたのを住民がみつけたと警察に連絡あり翌日みつかりました。
- 3: 家族から行方不明の連絡を受け、関係事業所と警察と捜索。日頃の状況から徒歩での外出と考え雄琴駅近くを捜索中CM自身が発見。関係者に連絡した。
- 4: 数年前「祭りにいく」と祭りでない日に一人で出かけ行方不明。家族、デイサービス職員、警察で探し5時間後仰木の田畑の道でうずくまっている本人を警察が見つけた。
- 5: 家族様と捜索。地域の方の通報で警察署に保護される。
- 6: 通報を受けたが捜索に出る前に発見された。
- 7: 60代 昔の会社同僚に誘われ外食。真野からの帰路、迷い朝にようやく帰宅。妻は同僚宅にいたと思っていた。
- 8: 日中独居 家族が夕方戻り不在を確認。フレスコの椅子に座っている本人を発見。自宅からは5キロ程の場所。

《それ以外の地区》

- 1: 訪問したヘルパーが気づいた時に居室にいなかった。関係者で近隣を探すも見つからず警察に通報。不審に思った方が声をかけて下さり、所持品の名刺を見てCMIに連絡が入った。
- 2: 仰木、下坂本それぞれ警察に届け出を出した上で娘さんと手分けして本人が寄りそうなところを探しました。一人は普段行っている畑で座り込み、もう一人はいつも受診している病院の待合室にいました。
- 3: 夕方、買物に出られたまま戻られず夫より相談あり。そのまま家族は周囲を捜索される。大津市の徘徊登録もしていたので長寿政策課にも連絡する。1時間後、近所の方が車で送って下さったと連絡受けるが本人も誰かわからずどこで発見されたのか詳細はわからない。
- 4: 夫より電話がある。朝から眼科に行くといって出て行ったまま帰ってこない。ヘルパーさんなど関係事業所の職員で探すが帰ってこられず警察に連絡した。警察でも見つからなかったが19時過ぎにだれかに送ってもらったと言って帰ってきた。
- 5: 関係事業所から迎えに行ったが本人不在と連絡。窓や玄関も開いたままご近所、関係事業所、警察と捜索。警察が最寄の駅とは別の駅で発見。
- 6: 坂本エリア。早朝に徘徊した女性。パジャマ姿だったので発見した市民が近くの介護施設に連絡し保護してもらった。(鞆に名前と連絡先をいれていた)
- 7: 真野エリア。何度も徘徊する男性。GPSをつけていたので警察に保護された。
- 8: 真野エリア。自転車で雪の中道がわからなくなり走り続けてしまった男性。家族、ケアマネで探したが警察に連絡し6時間後保護(木戸の路上)
- 9: 家族様が主に捜索。近隣で倒れていて救急搬送。GPSで発見するも介護者が追いつけない。
- 10: 通院に出たまま帰宅しないという家族の連絡うけ病院⇄自宅間を車で巡回するも見つからず家族と相談し警察に連絡。本人の特徴等の聞き取りをしている最中にコンビニからの通報うけた別の警察が本人を連れて戻ってこられた。「お腹がすいた」のでコンビニに寄った様子。その後どうしたらいいのかわからなくなってウロウロしていてコンビニ店員が気付いてくれた。
- 11: 通勤途中に歩いているところを発見し家族に電話。そこで家から出ていることに気付く。場所を伝えず家族が迎えに行き保護。
- 12: 仕事中の移動時と帰宅途中に歩いておられる姿を見て声をかけて対処しました。警察や家族に連絡し無事に帰られました。
- 13: 妹と2人暮らしの男性。妹が姿が見えなくなったことに気づき事務所へ連絡。小型GPSを携帯していたのでPCにて山科にいたことが判明。事業所スタッフが捜索し山科で発見した。
- 14: 妻と2人暮らしの男性。散歩に出かけたまま戻らず妻が警察と大津市行方不明高齢者早期発見ダイヤルコールセンターに通報。夜になり湖西道路を歩いているのを不審に思った通行者が110番通報。駆けつけた警察官によって保護された。
- 15: 同僚ケアマネ担当ご利用者様の奥様より担当に相談の連絡があり、事務所内ケアマネで捜索にあたる。携帯で連絡を取り合いながら各方面ご本人が立ち寄りそうな場所を手分けして探す。警察にも連絡しご自宅裏にてうずくまっておられるところを発見された。

- 16:同居されている息子様より連絡あり。近場を車で探したが見つからず警察に協力頂き自宅より3キロ離れた国道沿いで見つかる。発見時脱水状態であった。
- 17:毎日散歩に出ておられ、3コースをその日の気分で散歩されていた。家族が夕方になっても帰ってこないため警察に通報。地域住民や警察、消防団などで搜索。通所サービス事業所として参加。搜索は数日続いたが発見できずいったん搜索終了。半年後に散歩コースから少し外れたところで地域住民が発見。
- 18:家族の依頼で娘宅に届け物をしに出かけた。なかなか帰ってこないため妻や娘が探し出す。家族が搜索中に居宅やデイの職員が搜索の様子をみて協力。地域内(本人がよく行くスーパー数か所)を重点的に探す。1時間ほど探し家族(娘)が発見。
- 19:唐崎在住の方が衣川のスーパーまで徒歩で行き、帰り方がわからないと通報あり。夫がタクシーで迎えに行った。その後大津市SOSダイヤルへ申し込みをした。
- 20:手の空いている職員が車やバイク、徒歩で探し見つける事ができた。
- 21:80代男性 日中独居 昼ヘルパーが行くと不在。他事業所 警察も協力受け搜索。3キロ程離れたうどん屋(閉店)の長椅子に座っているのを19時頃発見された。普段歩行器歩行のためそこまでの場所へ行くと思っていなかった。
- 22:70代男性 アルコール依存症あり 出かけたまま不明に。16時頃見つかったが近くの田んぼに裸で寝ていた。
- 23:50代若年性 JRに乗り福井県で保護。
- 24:80代男性 22時頃不明を発見。警察の協力を受ける。1キロ程の所で転倒を発見。

#### ※皆様のご意見

- ・地域での顔見知り、馴染の関係が大切だと思います。普段からの声かけ、挨拶。最近知らない人に声かけするのも勇気がいりますが・・・
- ・近所の方に「認知症の人が家族にいる」ことを知られたくない、知られると追い出されるのではないかと心配し登録して頂けなかったり警察への通報も遅れる場合がある。
- ・可能性のある方はいるが、ご家族の協力が得られない場合があり進展が難しい。
- ・徘徊用GPSを利用したく何度か検討したが、大きさや本人が普段持つ習慣がなく中々活用にはいたらなかった。
- ・すべての人が対象ではないかもしれないが可能性がある人は早期にネットワークを作るべきと感じている。しかし実際に行方不明になっている状況で色々な人に家の事情を知られたくないという家族も多い。まずはそのハードルを下げる取り組みが必要と感じる
- ・市の行方不明ダイヤル等も申し込んでいますが、徘徊が早朝、深夜、日祝日だったり機能せず結局警察のお世話になっていま
- ・徘徊行動をとられる方の日常的な行動範囲の情報は必要と思います。
- ・本人にしかわからない目的や理由があるのかも知れない。No16の方の場合は妄想により自宅にはいられない、逃げなくてはの思いがあった様でその後も度々徘徊がある。徘徊ネットワークには登録済み。
- ・地域に搜索のネットワークがあれば安心だと思います。
- ・GPSが有効(本人にお守りと伝え身につけていただく)
- ・まず認知症の勉強から取り組み「なぜ」そのような行動に出るのか? 「なに」が気になっているのか。など基本が大切だと思います。認知症は病気で特別のものでもなく地域の方の理解があれば慣れた地域で安心して生活が出来ると思います。徘徊だけを取り上げるのではなく認知症を知る事から始めてはどうでしょうか。
- ・21～24 事業所内、他ケアマネ担当も含まれています。担当したすぐの出来事が多くその後に対策を取ることで(サービス増量など)対応し改善されました。サービス介入までのご家族の心労はとても大変だと思います。GPSが行政対応頂ければ、またはもっと利用がひろがればサービス利用少なくとも、本人が行動制限されず暮らせる社会になるのに、と思います。「行ってらっしゃい」「困ったら見つけてあげるよ」の社会。